

会 議 録

会議の名称	令和3年度第1回茨木市文化振興施策推進委員会
開催日時	令和4年2月24日（火） <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">午前</span> ・午後）10時 開会 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">午前</span> ・午後）11時40分 閉会
開催場所	市役所南館8階 中会議室
議長	出口委員（委員長）
出席者	大西委員、川本委員、木村委員、出口委員、 原田委員、平田委員（オンライン参加） <span style="float: right;">【6人】</span>
欠席者	雨森委員、飯嶋委員、池上委員 <span style="float: right;">【3人】</span>
事務局職員	福岡市長 上田市民文化部長、今西文化振興課長、田中文化振興課課長代理兼振興係長、 橋本文化振興課交流係長、川寄文化振興課主査、天野文化振興課職員 向田市民会館跡地活用推進課長、山根市民会館跡地活用推進課副主幹 木下歴史文化財課長、前田歴史文化財課課長代理兼調査管理係長 <span style="float: right;">【11人】</span>
開催形態	公開
議題（案件）	(1) 本市の文化振興施策の現状について (2) 茨木市文化振興ビジョンの改定について (3) その他
配布資料	(1) 次第 (2) 委員名簿 (3) 文化振興ビジョン完成前（平成27年3月以前）から実施してきた事業一覧 (4) 文化振興ビジョン完成後（平成27年4月以降）に新たに実施した事業一覧 (5) 文化振興ビジョン策定スケジュール (6) 文化芸術に関するアンケート概要 (7) 文化芸術に関するアンケート調査案（一般用） (8) 文化芸術に関するアンケート調査案（学校用）
傍聴人	2人

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
今西文化振興課長	<b>1 開会</b> ただ今から、茨木市文化振興施策推進委員会を開催する。 開会にあたり、市長から挨拶をする。
福岡市長	<b>【市長あいさつ】</b>
今西文化振興課長	ここで市長は公務のため、退室する。  <b>【市長退室】</b>
今西文化振興課長	これより第1回委員会に入る。 委員長が決まるまで、事務局で進行役を務める。 始めに、委員の出席状況を報告する。全委員は9人であり、雨森委員、飯嶋委員、池上委員の3名から本日、欠席のご連絡をいただいております、本日、出席の委員は6人である。過半数以上の委員が出席しており、茨木市文化振興施策推進委員会規則第6条第2項により、会議は成立している。 それでは、議事の審議に先立ち、委員の皆様を分野ごとに五十音順で紹介する。  <b>【各委員紹介】</b>
今西文化振興課長	<b>2 委員長等の選出</b> それでは、本委員会の委員長の選出に移る。委員長の選出は委員会規則第5条第1項の規定に基づき、委員の互選によりお願いしたいが、いかがか。
大西委員	国、自治体の文化行政に精通し、これまで本委員会の委員長として、議事、審議をまとめていただいた国立民族学博物館名誉教授の出口委員が適任だと思うが、いかがか。
今西文化振興課長	ただ今、大西委員から委員長には出口委員が適任との提案があったがいかがか。
各委員	<b>【異議なしの声】</b>
今西文化振興課長	異議がなしとのことなので、出口委員を委員長に決定する。 それでは、出口委員長、委員長席の方へ移動をお願いします。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<b>【出口委員長が所定の位置に移動】</b>
今西文化振興課長	委員長就任の挨拶をお願いします。
出口委員長	<b>【委員長あいさつ】</b>
今西文化振興課長	これからの議事は、委員会規則第6条第1項の規定により、議長は委員長にお願いします。
出口委員長	最初に、委員会規則第5条第3項に基づき、職務代理を選任する。職務代理者は委員長が指名することとなっているので、大西委員を指名する。 次に、会議の運営方法である会議等の公開について諮る。事務局の説明を求める。
今西文化振興課長	会議及び会議録、会議資料について説明する。 本市では、審議会等の会議は、個人に関する情報を審議する場合などを除き、公開を原則として、審議会等に諮ったうえで決定することとしている。また、審議に関して提出された資料についても、審議会等の同意を得て、傍聴人に閲覧、配付することができることとしている。 また、会議録、会議資料についても公表に努めているところである。
出口委員長	ただ今、事務局から会議の公開、会議録及び会議資料の公開についての説明があった。 今後、非公開とすべき案件が発生したときには、会議の非公開を決定することとして、それまでは、原則に基づき会議は公開とし、資料についても傍聴者への閲覧、配付を許すこととし、また、会議録に関する事項についても、他の審議会と同様、公開とし、各委員からの意見についても、名前を明記しての公表とすることではいかがか。
各委員	<b>【異議なしの声】</b>
出口委員長	それでは今後、本委員会については、公開とする。傍聴者がいれば入室を許可する。  <b>【傍聴者入室】</b>

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	<p><b>3 議事</b></p> <p>それでは、これより案件の審議に入る。 会議次第に沿って議事を進める。 まず、案件について事務局の説明を求める。</p>
今西文化振興課長	<p>本日は案件が2つある。 1つ目は「本市の文化振興施策の現状」についての報告、2つ目は「茨木市文化振興ビジョンの改定」に係る審議である。</p>
今西文化振興課長	<p><b>(1) 本市の文化振興施策の現状について</b></p> <p>まず、1つめの案件はこれまでの文化振興施策の取組状況等について文化振興課から報告する。また、文化振興施策と関連する事業として、令和6年4月にオープンする新施設のホール施設の進捗状況等について市民会館跡地活用推進課から報告する。</p>
川崎文化振興課主査	<p>【「本市の文化振興施策の現状について」説明】</p>
向田市民会館跡地活用推進課長	<p>【「新施設の進捗状況等について」説明】</p>
出口委員長	<p>本市の文化振興施策の現状及び新施設の進捗状況等について、報告を受けた。各委員から感想や質問等をお願いしたい。</p>
木村委員	<p>コロナ後の世界に何をもちたらずか。このタイミングで新施設が竣工し、茨木市も大きく変わるのではないかと期待している</p>
原田委員	<p>新施設の愛称が「おにクル」ということで観光協会のマスコットキャラクター茨木童子の出てくる機会が多くなると考えている。先ほどの説明の中で新施設について初めて聞くことが多くあったので、市民にもっと知ってもらいとより良くなると思う。</p>
出口委員長	<p>市民の方への新施設やその愛称「おにクル」の広報活動はどのようにしているのか。</p>
向田市民会館跡地活用推進課長	<p>広報活動については、これまで広報誌の特集記事等で、周知してきた。愛称の「おにクル」は新聞記事にも取り上げられ、違う角度からの周知もできた。 今後は新施設開館のプレ事業や観光協会との連携を通じて周知をしていきたい。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
川本委員	<p>新施設については、100人会議などを通じて、多くの市民の意見を聞いてきたと感じている。</p> <p>フライタワーは茨木高校出身、おはなしの家は春日丘高校にゆかりがあるなど、茨木出身の作家でほとんど作っているところがコンセプトの「育てる広場」に繋がっている。また、「おにクル」も市民公募で6歳の方が付けたということで、老若男女問わず、多くの市民がどんどん関わっていく事業になっていった欲しい。学校でも芸術に触れられる機会を提供して欲しい。先ほどの説明の中で中条小学校のワークショップの話はあったが、山間部など遠いところでも受けられるようになれば良いかと思う。</p>
大西委員	<p>新しい施設は複合施設ということで子育て、図書館、プラネタリウムなど様々な機能が入る。これらの機能を連携させながら運営していくことが課題である。新施設の建設工事については前の市民会館が新しく建つものと思っている方も多くいるのでプレ事業などを通じて更なる周知に努めて欲しい。</p>
平田委員	<p>伊東先生が設計した素晴らしい施設であるとともに、日本最先端の複合施設ができると思う。一方、劇場として捉えた場合、どう活用するかは議論の余地があると考えている。劇場の評価軸で見ると国際性がほとんどない。これほどの施設で国際性が欠如していることはありえないので、どうしていくのかが課題である。1つ目の論点として、人口28万人の市で創造活動をどこまでやるのか。この施設で創造活動をせずに文化庁の補助金など、活用できるものをしないと、行政の不作为ともとらえられる。もう1つの論点は、芸術監督や専任のプロデューサーを決めていくのかについて、検討する必要がある。</p>
出口委員長	<p>新施設は想像以上の素晴らしいランドマークになっている。JRと阪急の間の地域の活性化に寄与するのに十分な施設である。新施設の映像で分かりかねる部分があるので確認したい。1つは上の階から外に出たときの転落等への配慮など、安全面はどうか。2つ目は従来の図書館の考え方が大きく変わる賑やかなコンセプトは素晴らしいので、ソフト面、ハード面のどちらでも良いが視覚障害者への配慮をお願いしたい。様々な機能が入った多目的の施設は使いやすいが、使い次第であるとも言える。さらにポストコロナに向け、先ほどの国際性の部分に繋がるが、今日の会議のようにリモートに対する設備も事前に準備されたい。</p>
向田市民会館跡地 活用推進課長	<p>安全面への配慮であるが、転落しないように柵を設置している。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	他にご意見、ご感想等はないか。
各委員	【意見等なし】
出口委員長	それでは、案件1「本市の文化振興施策の現状について」の報告を終了する。
出口委員長	(2) 茨木市文化振興ビジョンの改定について
出口委員長	次に案件2「茨木市文化振興ビジョンの改定」について、説明を求める。
田中文化振興課課長代理兼振興係長	【「茨木市文化振興ビジョンの改定について」説明】
出口委員長	茨木市文化振興ビジョンの改定について、報告を受けた。各委員から感想や質問等をお願いしたい。
平田委員	アンケートは良くできている。開館以降の課題でもあるが、来ない人達にどうやって届けるか。アートマネジメントの世界では届けたい人に届かないというジレンマがある。関心がない人にどう関心を持ってもらうかが重要であるので、アンケートを取った後のほうが大切である。
大西委員	ボリュームがあるので、前回のアンケート結果に関する分析を参考にしながら、持ち帰ってじっくりみたい。
川本委員	学校アンケートの対象校の小学校10校はどのようにして決めるのか。地域などは偏らないか。
田中文化振興課課長代理兼振興係長	校長会で相談して偏りがいないような学校の選定をする。
原田委員	文化芸術の種類として新たに加えた国民娯楽(囲碁・将棋など)の中の将棋は、本市で市長杯を開催するなど、少年少女の間でかなり盛んである。また、アンケートで市民総合センターの記載を市民総合センター(クリエイトセンター)としてはどうか。
田中文化振興課課長代理兼振興係長	分かりやすい記載に努める。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	将棋の話でいうと高槻市に関西将棋会館が新たにできる。アンケートに話を戻すとSNS名を具体的に挙げている箇所にLINEを追加してはどうか。
田中文化振興課課長代理兼振興係長	追加する。
出口委員長	先ほど、平田委員から文化庁の補助金等の活用について意見があったが、そのあたりは事務局としてどのように考えているのか。
向田市民会館跡地活用推進課長	新施設所管課として、市の文化の方向性や本審議会での議論も踏まえて補助金を活用していきたい。
出口委員長	これだけの機能を備えた新施設であれば文化庁が興味を示すのではないかと思うが、平田委員いかがか。
平田委員	創造活動をどれだけやっていくかがポイントである。育てる広場というコンセプトは素晴らしい。劇場は子どもに似ていて育つものである。常にクリエイションをしないと職員や技術スタッフの士気低下から市民サービスの低下に繋がる。また、人材をどれだけ雇用するのも大きなポイントである。
出口委員長	例えば文化庁の方に本委員会に参加いただくなど、新施設について強く印象付けるようなことも必要かと考える。
原田委員	先ほど平田委員の意見にあった財源と補助金の件について、詳しく説明をお願いしたい。
平田委員	演劇やミュージカルなどの作品を制作すると文化庁や地域創造から応分の補助金・助成金がもらえる。ただ、政令指定都市であればオーケストラや専属の劇団を持つほか、芸術監督を置いて年に数本作品を作ることが責務となるが、人口28万人の都市でどこまでやるかは議論が分かれるところである。しかし、人類の財産となるような伊東先生建築の劇場ができるため、これを活用しないことは人類全体に対しての背信行為となるので、茨木市には大きな責務がある。

議 事 の 経 過

発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
出口委員長	平田委員の意見は誉め言葉であると思う。素晴らしいものができるので、器に見合うものをどうやって実施していくのかが重要である。民間の寄附など財源調達の方法は多様化している。また、民間から協力したいというところは出てくると思う。
平田委員	委員長がご指摘のとおりで、豊岡市では演劇を主たる目的としたふるさと納税で1億円以上の寄附を集めているので、これだけの建物をつくれれば全国から支援してもらえる可能性はある。豊岡市の場合はふるさと納税を財源として、内閣府の地方創生の補助金を活用しながら様々な事業を実施している。茨木市においても同様に、工夫しただいでは寄附と補助金を組み合わせながら市の財源をあまり使わずに事業を実施していくことができる。
出口委員長	議事が文化振興ビジョンの改定であるので、このアンケートに限らず、他に委員から意見はあるか。
川本委員	良い施設ができるので、学校の芸術鑑賞会等をこの施設で開催し、鑑賞環境が整っているホールという空間で中学を卒業するまでに市内全生徒が一度はプロのオーケストラや演劇などの芸術鑑賞を経験できるようにして欲しい。
大西委員	平田委員も言われているように立派な施設に合うような仕組みを本委員会などで共有しながら作っていく必要があると改めて思った。
出口委員長	他にご意見、ご感想等はないか。
各委員	【意見等なし】
出口委員長	それでは、案件2「茨木市文化振興ビジョンの改定」についての審議を終了する。
出口委員長	<p><b>4 その他</b></p> <p>本日の案件は以上で終了した。 事務局から何か連絡事項はあるか。</p>
今西文化振興課長	アンケートについては、追加で意見等がある場合は、3月3日(木)までに事務局にメールまたは書面での提出をお願いします。なお、意見の取り扱いについては委員長一任でお願いしたい。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	アンケートについては、本日欠席の委員からも意見は集めるのか。
今西文化振興課長	資料を送付し、意見を集める。
出口委員長	意見の取り扱いは委員長に一任願いたい。 それでは、本日の会議は、これをもって終了とする。